

県と公社等の委託事業に係る随意契約状況調査票(令和3年度)

部等名 農林水産部  
 課名 水産課  
 担当者名 牧野清人 IP:3178

公社等名 一般財団法人沖縄県水産公社

No.	委託業務名	委託業務内容	契約額(千円)	随意契約の方法			随意契約の理由	再委託の有無	再委託の理由	県の担当課
				1者随契	相見積	プロポーザル				
1	糸満漁港運営管理事務所 管理運営業務	建物及び備品の維持管理等、巡回警備等の再委託	978	○			水産公社は、糸満漁港の管理及び利活用の推進等を目的に県、関係市町村及び関係団体からの出捐により設立された。水産公社の設立目的から運営事務所の管理は、水産公社が当該事業を行うことで、効率的・効果的な管理運営が図られるため。	○	水産公社は、2階事務所(192㎡)以外に1階の荷捌き施設(2532㎡)を所有者として管理しており、警備及び消防点検の契約を同社に再委託し、一括発注することで、費用の軽減が図れるため。	水産課
2	令和3年度「新市場開設スタートアップ事業」委託業務	本事業では、新市場開設までに、市場運営や衛生管理等に係る必要事項について整理・決定し、市場運営の円滑化を図ることを目的とする。	3,812	○			本事業は、新市場開設までに市場運営や衛生管理等に係る必要事項について整理・決定し、市場運営の円滑化を図ることを目的としている。新市場の開設者は水産公社となる計画である。また、水産公社は県内の主な水産物卸売市場における現状や課題についても把握していることなどから、契約を履行できる者が特定される契約となっている。			水産課

3	漁港施設使用届とりまとめ業務委託契約	漁港施設を使用する際に条例上必要となる手続きの書類をとりまとめ、南部農林土木事務所へ提出する。	10,573	○			漁港施設は特定の漁港関係者が主に利用するものであることから、その維持管理は受益者の代表である地元市町村や漁協等が行なうことで、より効率的・効果的な業務態勢を築くことができる。このような業務を受益者が行なう体制は、その性質又は目的が競争入札に適しないものである※特命随契			漁港漁場課
4	糸満漁港(北地区)巡回清掃業務委託	漁港内における巡回及び清掃業務を行う。	9,375	○			漁港施設の管理においては、緊急を要する対応(漂着物の管理や海難事故、自然災害等)の発生が想定され、これらのことに対し迅速な対応が求められるため。			南部農林土木事務所
5										
6										
7										
8										
合計			24738	4	0	0		1		

県との委託契約の件数  
(随意契約含む。)

4件